



みねぎしよしお 峯岸義雄 議員

### 新型コロナ対応

**Q** コロナ禍における救急体制は

**A** 今年度から救急車5台運用を開始した



議員のつなぐやれ  
市民にワクチン接種を  
行き渡らせなければ！

**議員** 新型コロナ陽性者などの搬送状況は。

**消防長** 新型コロナ関連の救急搬送は昨年2月から今年5月までで462件。

**議員** 搬送先病院が決まらない困難事例の状況は。

**消防長** 今年1月から5月末までの困難事例は前年の約1.7倍。病院が決まらず、最も長く現場滞在を余儀なくされた事例は4時間9分、病院収容交渉回数は31回が最多。

**議員** 救急車が遠方搬送している間の救急体制は。

**消防長** 今年度から救急隊を1隊増隊し、救急車5台運用となり、厚みのある救急体制を構築した。

**議員** 感染拡大を抑えるため、ワクチン接種のさらなるスピード化をお願いする。

**議員** 政府は今年、家族の介護や世話を担う子供を対象とした初めての全国調査を実施し、その結果を公表した。ヤングケアラーは子供のお手伝いの域を超えており、孤立化、学業の遅れなど、さまざまな問題・実態が浮き彫りになった。子供たちの負担を軽減するため、各部署が連携して支援策を図れ。

**教育部長** 専門性のある人材を活用した相談を実施している。

**こども健やか部長** 早期発見し、関係機関との情報共有を図りながら必要な支援につなげていく。

**少人数学級の目指すべき姿は**

**議員** 35人学級の目指すべき姿、狙いについて伺う。

**教育部長** 誰一人取り残すことなく、すべての子供たちの可能性を



みうらよしかず 三浦芳一 議員

### ヤングケアラー

**Q** ヤングケアラーの孤立・学業など支援を

**A** 相談窓口で専門性のある人材を活用



引き出す教育へ転換し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

**コロナ禍の救急・医療体制は**

**議員** 医療機関との連携強化について伺う。

**消防長** 今年1月から4月までで30分以上収容先を探し、現場待機した件数は一昨年の2倍。近隣の医療機関とさらに連携を密にする。



▲本市では2年生まで導入されている35人学級が段階的に拡大されていきます

### その他の質問

**Q** 住宅用火災警報器の点検は町会などと連携しては。

**A** 地域の安心安全につながるので検討する。

**Q** 大地震発生時の消防の応援体制は。

**A** 緊急消防援助隊のアクションプランが示されている。



▲アナフィラキシーショック対応訓練の様子

### 一般質問



はないのぶこ 花井伸子 議員

### 新型コロナ対策

**Q** 迅速なワクチン接種・経済支援強化を

**A** 早期に接種を終了し、引き続き支援する



議員のつなぐやれ  
耳先のV字カットは  
不妊・去勢済みの印です

**議員** コロナ対策の基本は、PCR検査の徹底・希望者全員への迅速なワクチン接種・くらしと仕事応援である。高齢者ワクチン接種の見通しと一般接種の終了見込み、今後の生活支援・経済支援策は。

**健康福祉部長** 高齢者接種は7月31日終了を目標に、一般接種は可能な限り早期に終了できるように市を挙げて取り組む。生活支援は必要な方に支援が届くよう対応する。

**環境経済部長** 8月にキャッシュレス決済を利用して20%ポイント還元を実施し、70歳以上の高齢者には千円の地域共通商品券を配布する。

**議員** 「生理の貧困」が社会問題化している。学校トイレに生理用品を設置し、教育環境を整えては。

**教育部長** 各学校が実態に応じ提

**議員** 新型コロナで全国的にDV件数が増加した。「あんさんぶるプラン」では、「DVのワンストップ対応」とあるが①現状は②配偶者暴力相談支援センター設置の検討状況は③相談員の研修回数は。

**市民生活部長** ①関係課と連携し、ワンストップ対応により二次被害防止に努めている②近隣自治体の調査、関係課との協議を実施。

**健康福祉部長** ③7人のDV相談員のうち1、2名が毎年研修に参加し、他の相談員に共有している。

**議員** 相談員が全員、研修に参加すべき。しっかり研修を受けている婦人相談員を配置しては。

**健康福祉部長** 福祉保健センターへの婦人相談員配置は考えてない。

**議員** DV防止と行政サービスに必要な証明書の発行が可能となる

**議員** コロナ対策の基本は、PCR検査の徹底・希望者全員への迅速なワクチン接種・くらしと仕事応援である。高齢者ワクチン接種の見通しと一般接種の終了見込み、今後の生活支援・経済支援策は。

### DV防止対策

**Q** 配偶者暴力相談支援センターの設置を

**A** 近隣自治体を調査し、協議している



配偶者暴力相談支援センター設置は急務と考える。併せて婦人相談員を配置することで国から2分の1の補助が出る。検討を要望する。

**水害避難の対策強化を**

**議員** 4月にハザードブックが改訂となった。改訂内容は。

**危機管理監** 大きく3つの内容を改訂。一例としては自助意識の啓発を目的とするマイ・タイムラインのページを設けた。



▶「身近な人からの暴力被害の根絶」を掲げる「とだあんさんぶるプラン」



ようこ むとう葉子 議員

**議員** 新型コロナで全国的にDV件数が増加した。「あんさんぶるプラン」では、「DVのワンストップ対応」とあるが①現状は②配偶者暴力相談支援センター設置の検討状況は③相談員の研修回数は。

**市民生活部長** ①関係課と連携し、ワンストップ対応により二次被害防止に努めている②近隣自治体の調査、関係課との協議を実施。

**健康福祉部長** ③7人のDV相談員のうち1、2名が毎年研修に参加し、他の相談員に共有している。

**議員** 相談員が全員、研修に参加すべき。しっかり研修を受けている婦人相談員を配置しては。

**健康福祉部長** 福祉保健センターへの婦人相談員配置は考えてない。

**議員** DV防止と行政サービスに必要な証明書の発行が可能となる

**議員** コロナ対策の基本は、PCR検査の徹底・希望者全員への迅速なワクチン接種・くらしと仕事応援である。高齢者ワクチン接種の見通しと一般接種の終了見込み、今後の生活支援・経済支援策は。

**議員** 「生理の貧困」が社会問題化している。学校トイレに生理用品を設置し、教育環境を整えては。

**教育部長** 各学校が実態に応じ提

**議員** コロナ対策の基本は、PCR検査の徹底・希望者全員への迅速なワクチン接種・くらしと仕事応援である。高齢者ワクチン接種の見通しと一般接種の終了見込み、今後の生活支援・経済支援策は。